SFおよびSG 200/300シリーズマネージドスイッチでのネイティブVLANの設定

目的

仮想LAN(VLAN)を使用すると、同じスイッチに接続されていないホストのグループが、同じブロードキャストドメイン上にあるかのように通信できます。VLANトラフィックを持つインターフェイスには、そのインターフェイスに割り当てられたVLANが必要です。VLANが割り当てられていない場合、パケットが廃棄される可能性があります。GARP VLAN Registration Protocol(GVRP)がインターフェイスに対して有効な場合、VLANは動的に割り当てることができ、手動で割り当てる必要はありません。

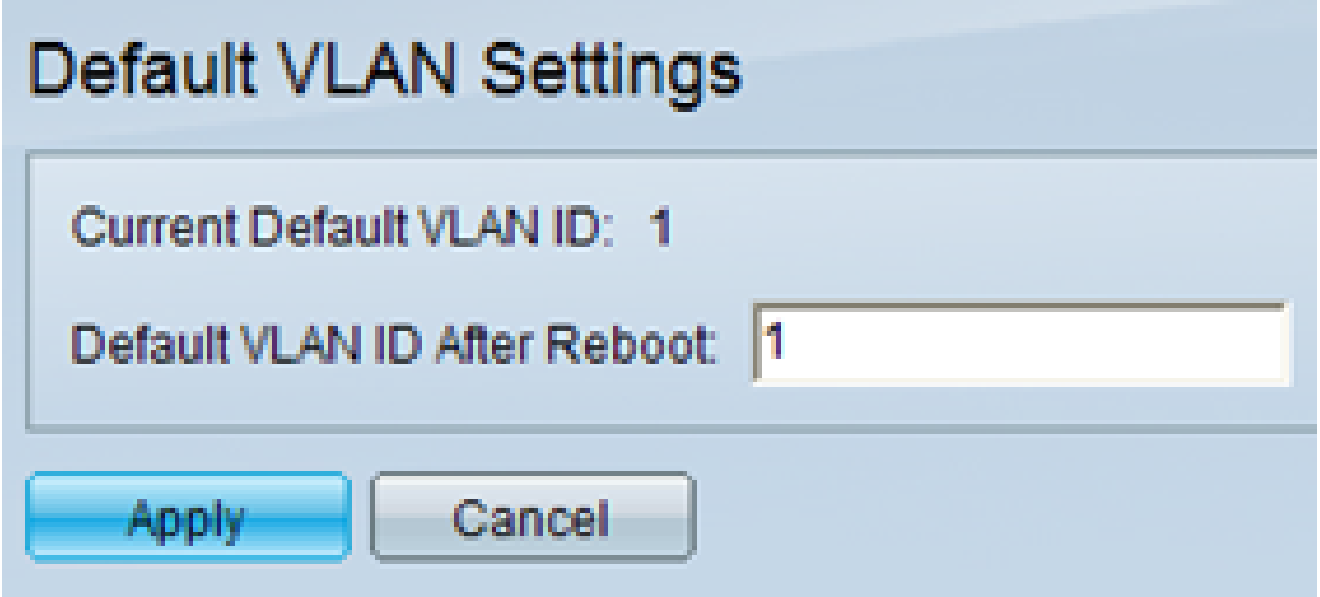
このドキュメントでは、200/300スイッチシリーズでネイティブVLANを設定する方法について説明します。

適用可能なデバイス

- 200 スイッチ シリーズ
- 300 スイッチ シリーズ

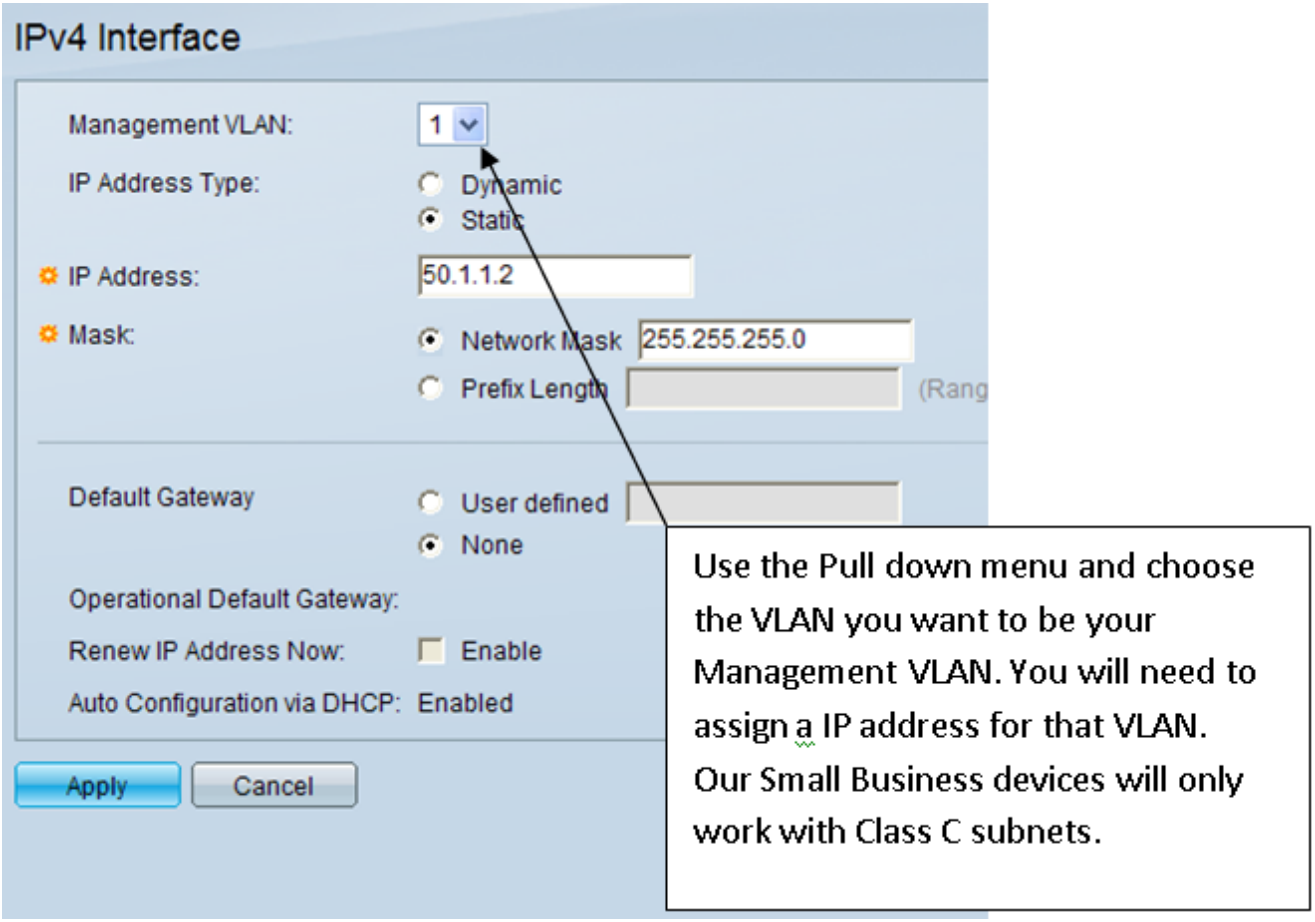
ネイティブVLANの設定

ステップ 1：Web設定ユーティリティで、VLAN Management > Default VLAN Settingsの順に選択します。Default VLAN Settingsページが開きます。



ステップ 2：Default VLAN ID After Rebootフィールドに、ネイティブVLAN ID番号であるVLANを入力します。

ステップ 3：Web設定ユーティリティで、Administration > Management Interface > IPv4 Interfaceの順に選択します。IPv4インターフェイスページが開きます。



ステップ 4：Management VLANドロップダウンリストで、Management/Native VLANにするVLANを選択します。

ステップ 5： IP Addressフィールドで、管理VLANにIPアドレスを割り当てます。

手順 6：Applyをクリックして設定を保存します。

翻訳について

シスコは世界中のユーザにそれぞれの言語でサポート コンテンツを提供するために、機械と人による翻訳を組み合わせて、本ドキュメントを翻訳しています。ただし、最高度の機械翻訳であっても、専門家による翻訳のような正確性は確保されません。シスコは、これら翻訳の正確性について法的責任を負いません。原典である英語版（リンクからアクセス可能）もあわせて参照することを推奨します。